

# 西合志東小学校便り



校訓【元気いっぱい 温もりのある 誇れる 西合志東小】第16号

令和4年11月1日 文責：有内 弘

## 西南中校区小中一貫教育研究発表会開催

※紙面右側は発表会当日の授業の様子です。

【学校教育目標】

「主体性と協働性を育み、夢の実現に挑戦する児童の育成」 ～可能性を力に～

11月（霜月）に入りました。朝晩は冷え込む日も増えてきました。

先月の10月15日（土）は引き渡し訓練ということで、保護者の皆様には大変お世話になりました。熊本地震（平成28年）から6年が過ぎていますが、その教訓をこれからの生活に生かしていくため、子どもたちの安心・安全をより確保するために訓練を実施しました。

今回は学校にいる間に地震が発生したという設定でしたので、子どもたちは放送や先生方の指示をしっかりと聞いて、迅速に行動することができました。保護者の皆様には暑い中（当日はとても良い天気でした）徒歩で訓練に参加いただき、本当にありがとうございました。引き渡しのイメージを持つことができました。

また、学校では10月28日（金）に西南中校区の小中一貫教育研究発表会を開催しました。当日は3年5組（道徳）、6年2組（算数）、特別支援教育の実践発表を公開しました。子どもたちの夢の実現、自主・自立（自律も含めて）した姿を目指して西南中校区で連携し取り組んでいます。

◆めざす子どもたちの学校での様子◆

【元気いっぱい】



10月15日は教材「つなぐ」を使って授業をしたり、実際の引き渡しのやり方を保護者の皆様と確認したりすることができました。

六月から延期になっていました。引き渡し訓練（地震）を十月十五日に実施しました。

【温もりのある】



児童一人一人が自分事として「くらしやすい町」について考え、意見を出し合いました。困っていたら声をかける、手伝う相手のことを考えて親切にするなど、たくさんのやさしい、温もりある発表でいっぱいでした。

三年生が道徳の授業で「みんながくらしやすい町」について、いっしょにけんめい考えていました。

【誇れる+夢の実現】



学習内容は、4つの中から2つを組み合わせる時の組み合わせ方について考えました。重なり等がないようにするには、どういう考え方をすればよいかを自分たちの意見交換を通して求めていました。

六年生が算数の授業を通して、問題に対して自分の考えをもち、積極的に意見交換していました。

【書籍の紹介】ちょっと読んでみませんか！

題名 「人間にとって教養とはなにか」  
頭のよしあしなんて存在しない。「学んだ人」だけが手に入れるものがある。  
なぜ教養を身に付けるのか？第一は自分のため。その先の高め合いにより社会のため（社会がよくなる 人の役に立つ等）  
著者 橋爪大三郎 発行所 SBクリエイティブ株式会社